２０２６年１０月１６日
東海旅客鉄道株式会社

東海道・山陽新幹線　次期新幹線車両「Ｓ０系」の投入について

当社では、Ｎ７００Ｓ以来のフルモデルチェンジとなる次期新幹線車両の製作を決定しました。この車両は、これまで積み上げてきた技術開発の成果を取り入れ、自動運転システム（ＧＯＡ２※1）を搭載する他、安全性、利便性・快適性、環境性能がさらに向上します。また、Ｎ７００Ｓと同様に様々な両数の編成構成を容易に実現できる「標準車両」としています。

このたび、次期新幹線車両の名称、主な特長および投入計画が決定しましたので、お知らせします。なお、営業運転の開始時期は、２０２９年７月を予定しています。

※１ ＧＯＡ２：運転士が運転室に乗務する自動運転

１．次期新幹線車両の名称

・ 現行のＮ７００系シリーズを超える革新的な車両として、東海道・山陽新幹線の新たな進化の基点を表す「０」に Shinkansen、Supreme の「Ｓ」を冠し、「Ｓ０系」とします。

２．「Ｓ０系」の主な特長

（１）自動運転システム（ＧＯＡ２）の搭載による安定した輸送サービスの提供【別紙１】

・ ミリ波列車無線※2から受信したダイヤ情報等をもとに、省エネ運転となるような計画速度を設定します。
・ ボタン押下により出発した後、設定した計画速度に従って自動で走行し、定時到着・定位置停止を実現します。
・ 走行中に、急きょ徐行等が発生した場合も、ミリ波列車無線から受信した最新の情報をもとに計画速度を自動で更新し、回復運転を行うことで、列車の遅れを最小化します。

※２ ミリ波列車無線：ミリ波帯（40GHｚ帯）を用いることで、高速・大容量通信が可能な通信方式

（２）地震発生時の列車停止早期化による安全性の向上【別紙２】

・ ミリ波列車無線による早期地震検知システムを導入することにより、地震検知からブレーキ開始までの時間を１０分の１程度に短縮します。
・ 加えて、ブレーキ制御の改良により、地震時のブレーキ距離をＮ７００Ｓと比較して、約５%短縮します。

（３）車内設備の充実による利便性・快適性の向上【別紙３－１～３－４】

① グリーン車のサービス向上

・ 昨今の多様なニーズを踏まえ、グリーン車をより便利・快適にご利用いただけるよう、２タイプの座席（多機能アームレスト座席、パーティション座席）を提供します。

・ 移動中も落ち着いて身だしなみを整えることができるよう、９号車デッキ部にパウダーコーナーを新設します。
・ 無料Wi-Fi サービスの拡充により、従来よりも通信の安定性を改善します。
・ フルアクティブダンパの制振制御を改良し、乗り心地を向上します。
・ 座席のリクライニング可能角度を調整するとともに、跳ね上げ式フットレストを採用し、足元スペースを拡大します。

② 共通（普通車・グリーン車）のサービス向上

・ 近年の観光需要の高まりに伴い、スーツケース等の大きな荷物を持って新幹線をご利用されるお客様が増加していることから、より安心・快適にご利用いただけるよう、デッキ部の荷物置場を６箇所から９箇所に増設します。また、大きな荷物の場合でも荷棚を使いやすくするため、客室内の荷棚スペースを拡大します。
・ デッキのレイアウトを刷新し、女性専用トイレはスペースを拡大し、室内にベビーベッドを新設します。また、男性専用トイレの引き戸化および洗面所の間口を拡大し、ご利用いただきやすくします。

（４）環境性能の向上【別紙４－１～４－２】

・ Ｎ７００Ｓの先頭形状をさらに進化させた、新たな先頭形状「ツイン リーメクス形」を採用します。先頭形状等の改良による空気抵抗低減の他、自動運転や効率的な機器の搭載により、編成全体の消費電力量をＮ７００Ｓと比較して、約６%削減します。
・ 新幹線車両に使用されていたアルミ部材をリサイクルした「再生アルミ部材」の使用範囲を拡大し、車両の構体における使用割合を約２０%に高めます。また、車体素材のほぼ全てをリサイクル可能なアルミ部材に統一することで、水平リサイクルを推進し、環境負荷を低減します。

３．投入計画※3

年度	２０２９	２０３０	２０３１	２０３２（上期）	計
編成数	８	７	７	３	２５

※3 ２０２８年８月に確認試験車を１編成投入予定

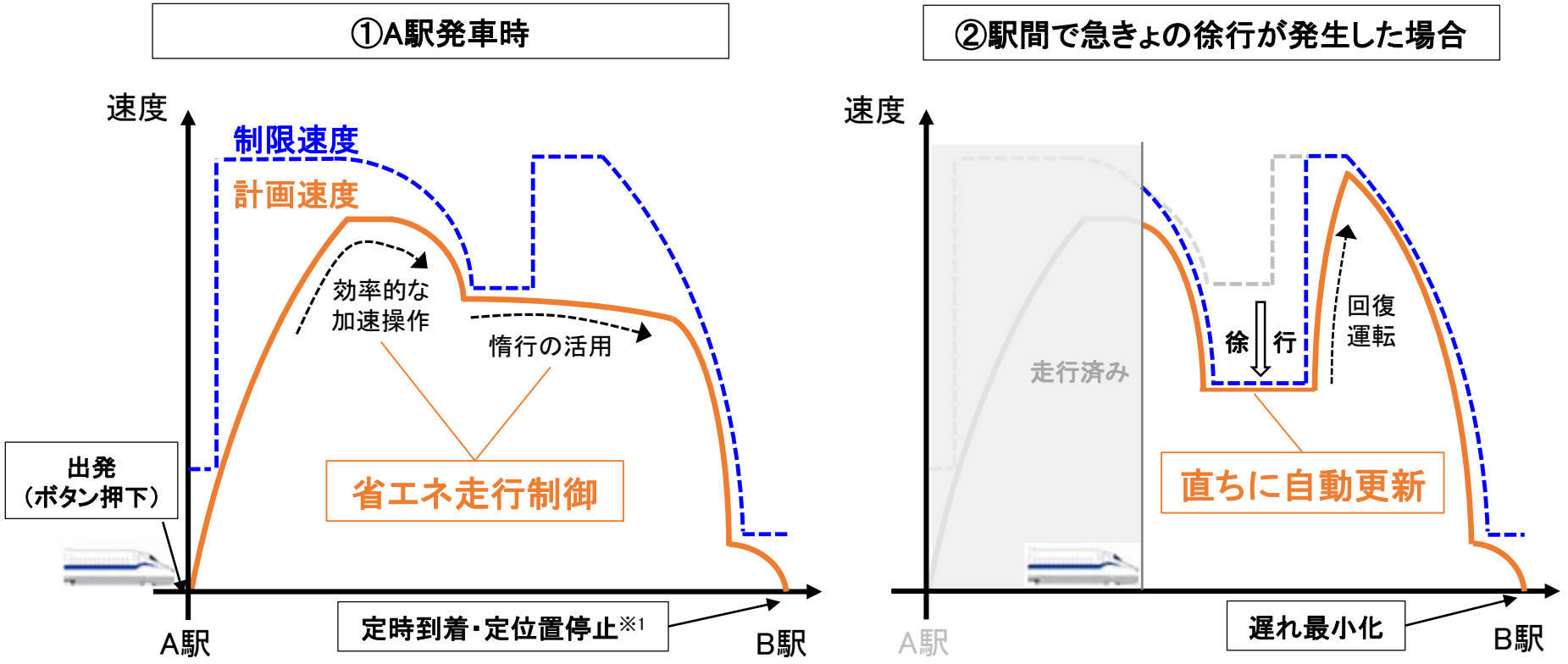
２０３２年度下期以降の投入計画は現時点では未定

４．その他

・ グリーン車のサービス向上（２．（３）①）については、２０２７年１２月以降に投入するＮ７００Ｓの新製車両から先行して実施します。
・ Ｓ０系の新機能の一部を追加するため、既存のＮ７００Ａ及びＮ７００Ｓに改造工事を実施します。詳細は別紙５をご確認ください。

別紙1

自動運転システム（GOA2）の搭載による安定した輸送サービスの提供



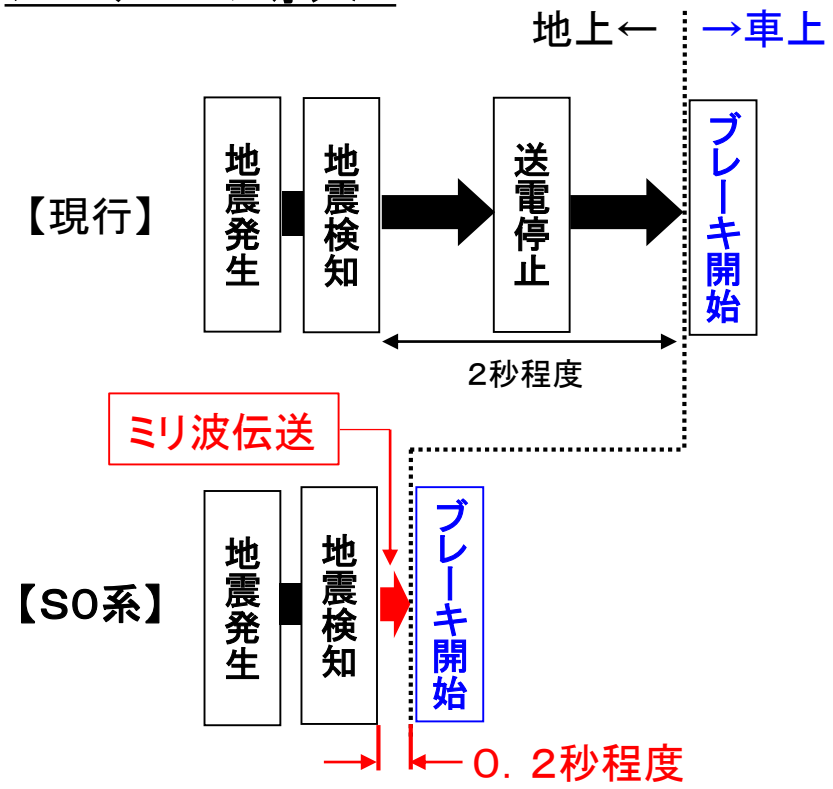
- 効率的な加速操作や惰行を活用した省エネ運転となるよう計画速度を設定し、自動で走行
- 走行中、急きょの徐行等が発生した場合も、ミリ波列車無線により最新の運転情報（ダイヤ、速度制限等）※2を受信し、即座に計画速度を自動更新、回復運転を行うことで、遅れを最小化

※1　定位置停止はTASC（Train Automatic Stop-position Control）により実施。2026年9月より全営業列車で使用開始
※2　運行管理システム（コムトラック）からの運転情報をミリ波列車無線で車上に伝送。2030年度末より使用開始

別紙2

地震発生時の列車停止早期化による安全性の向上

○ミリ波列車無線による早期地震検知システムの導入※



地震検知の情報をミリ波列車無線により車両に直接伝送することで、地震検知からブレーキ開始までの時間を1/10程度に短縮

※　現行機能に追加

○地震時のブレーキ制御の改良

285km/hからの地震時のブレーキ距離



左記に加え、ブレーキ制御を改良し、地震時のブレーキ距離を更に短縮

地震時の列車停止のさらなる早期化を図り、安全性を向上

別紙３－１

車内設備の充実による利便性・快適性の向上

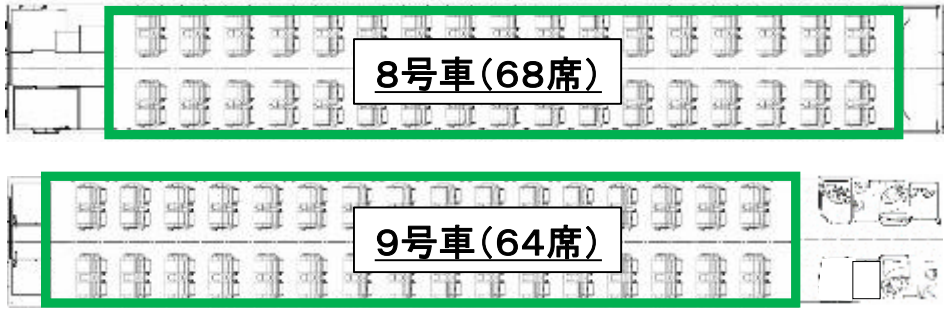
※画像はイメージです

【グリーン車】2タイプの座席を提供

大阪方 ←

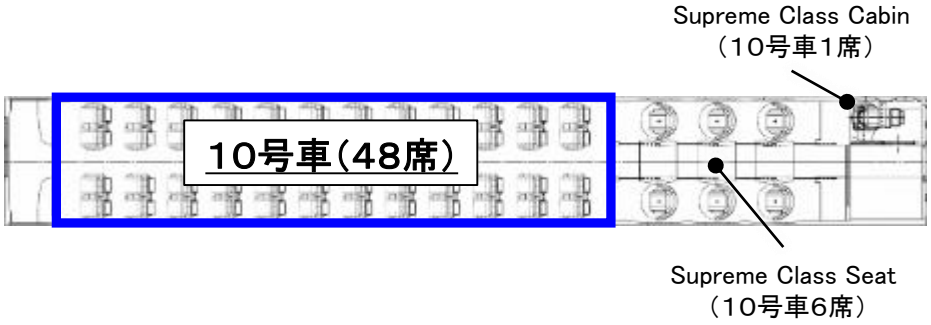
→ 東京方

多機能アームレスト座席（8・9号車）





パーティション座席（10号車）





昨今の多様なニーズを踏まえ、選択肢を提供

別紙３－２

車内設備の充実による利便性・快適性の向上

※画像はイメージです

【グリーン車】パウダーコーナーの新設



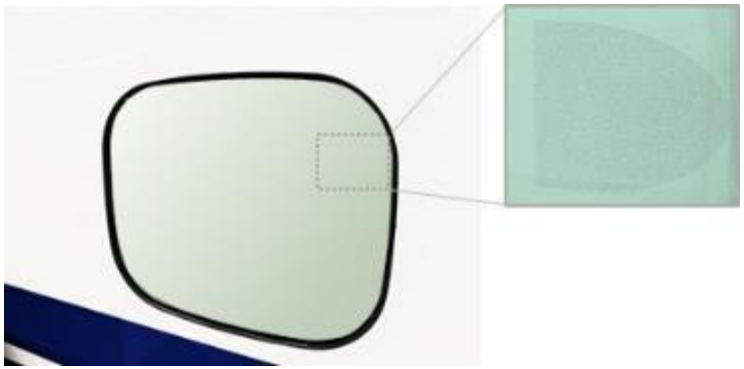
９号車デッキ部に、移動中も落ち着いて身だしなみを整えることができるパウダーコーナーを新設

多様なニーズに応え、
移動中の利便性・快適性を向上

【グリーン車】無料Wi-Fiサービスの拡充

従来の７・８号車に加え、９・１０号車にも、「S Wi-Fi for Biz」を導入

さらに、８～１０号車に、5G対応透明ガラスアンテナを搭載することで、より安定した通信を実現



5G対応透明ガラスアンテナ

通信容量の拡大等により、
従来よりも通信の安定性を改善

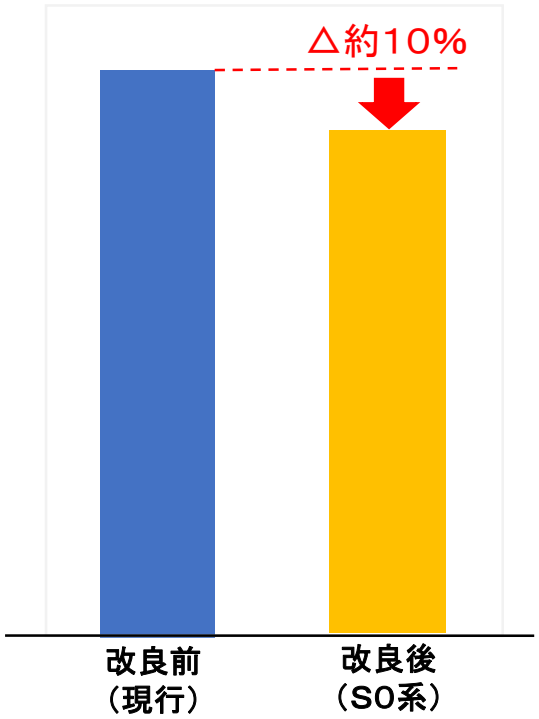
別紙３－３

車内設備の充実による利便性・快適性の向上

※画像はイメージです

【グリーン車】乗り心地の向上※1

すれ違い時の横方向の揺れの程度



フルアクティブダンパの制振制御を改良し、すれ違い時における車両の揺れの程度を約10%低減

快適性を高め、より上質な車内空間を実現

※1　グリーン車（8～10号車）に加え、普通車（7号車）も改良

【グリーン車】足元スペースの拡大



リクライニング可能角度を調整※2し、跳ね上げ式フットレストを採用

足元スペースを拡大するとともに、後列座席の圧迫感を低減

※2　普通車も実施

別紙３－４

車内設備の充実による利便性・快適性の向上

※画像はイメージです

【共通】荷物置場の拡充



デッキ部の荷物置場を6箇所から9箇所に増設
（3・7・15号車）

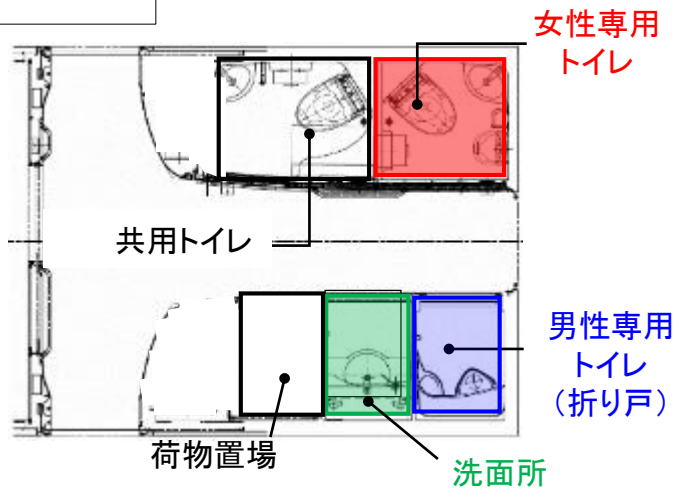


荷棚スペース：先頭車：＋約25％（高さと奥行を拡張）
中間車：＋約　5％（奥行を拡張）

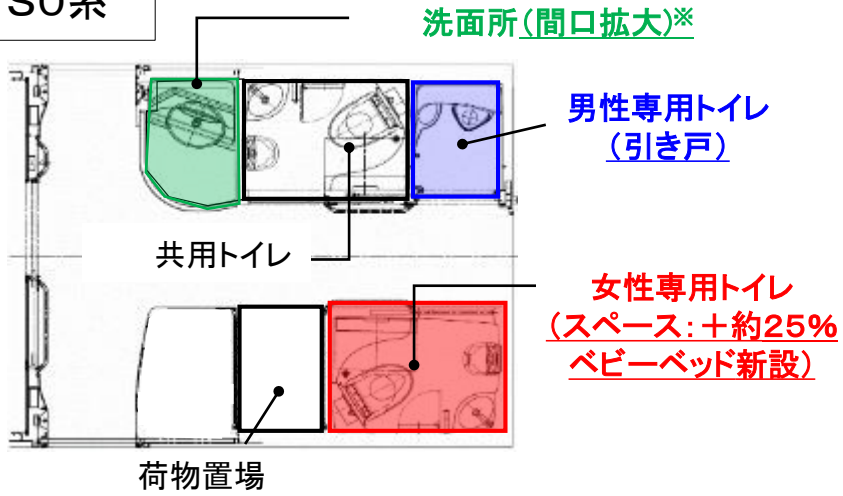
荷物置場の拡充により収容性を向上

【共通】洗面・トイレ設備の充実

N700S



S0系



より快適で便利なご利用空間を実現

※　1、7、11号車は除く

別紙４－１

環境性能の向上

※画像はイメージです

○新たな先頭形状の採用

- 空気抵抗低減の他、自動運転による効率的な走行、効率的な電気機器の搭載により、消費電力量を約6%削減（対N700S比）

【N700S】
「デュアル スプリーム ウィング形」



【S0系】
新開発「ツイン リーメクス形」※1



※1　青帯等のデザインは今後決定

車体側面から先頭部に至る滑らかな面のねじれを風切羽（リーメクス）※2の形態に喩え、先頭と後尾のいずれにおいても風の流れを操る形状を表現

※2　風切羽（かざきりばね）：飛行時に空気の流れを受け、揚力などを生み出す翼の羽



風切羽

別紙４－２

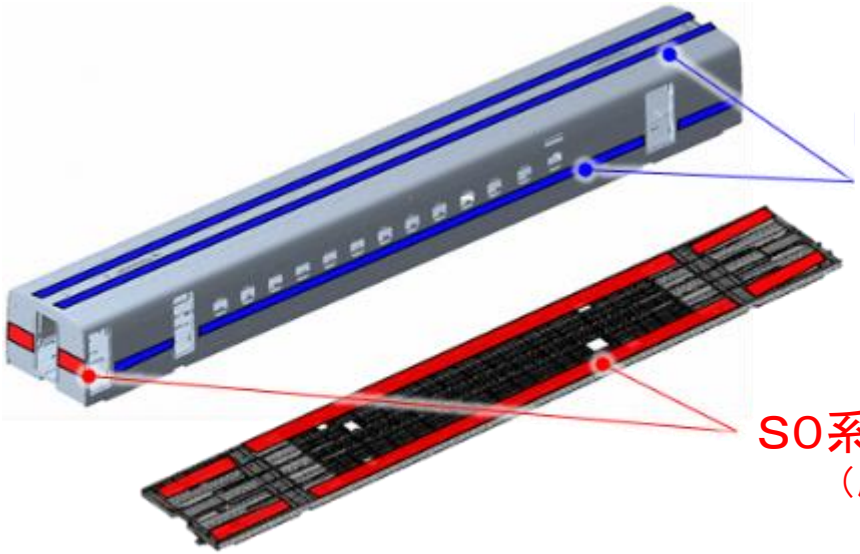
環境性能の向上

※画像はイメージです

○アルミ水平リサイクルの拡大







廃車から取得した再生アルミ部材の使用部位

- 再生アルミ部材の使用範囲を拡大し、車両の構体における使用割合を約6%向上
（N700S：約14% → S0系：約20%）
- 車体素材のほぼ全てをリサイクル可能なアルミ材に統一することで、水平リサイクルを推進し、環境負荷を低減

※ 2026年度以降追加投入のN700S

別紙5

N700A及びN700Sへの改造工事

S0系の新機能の一部を追加するため、N700A及びN700Sに改造工事を実施します。

S0系の主な特徴	新機能	改造対象		改造開始時期（予定）
		編成	号車	
自動運転	自動運転（GOA2）	N700S	—	2029年10月以降順次
地震時の安全性向上	ミリ波列車無線による早期地震検知システム	N700S	—	
	ブレーキ制御の改良	N700S・N700A※1	—	
車内設備の充実（グリーン車）	多機能アームレスト座席	N700S・N700A※2	8・9号車	2028年4月以降順次
	パーティション座席	N700S・N700A※2	10号車	
	パウダーコーナー	N700S	9号車	
	無料Wi-Fiサービス拡充（8号車は「S Wi-Fi for Biz」導入済）	N700S	8～10号車	2027年1月以降順次
	フルアクティブダンパの改良	N700S	7～10号車※3	2028年4月以降順次
	リクライニング可能角度調整跳ね上げ式フットレスト	N700S・N700A※2	8～10号車	
車内設備の充実（共通）	荷物置場拡大	—	—	—
	荷棚スペース拡大	—	—	—
	洗面・トイレ設備の充実	—	—	—

※1　2032年7月までに廃車を予定しているN700Aは除く
※2　2031年3月までに廃車を予定しているN700Aは除く
※3　Supreme Class Cabinが設置されていない7号車は除く